

がんセンター 便り

 宮城県立がんセンター地域医療連携室



ご挨拶

総長 片倉 隆一

日頃より、当センターに対しご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

今年度から、前総長西條茂が地方独立行政法人宮城県立病院機構理事長に就任し、総長に私が、院長に小野寺博義前副院長、副院長に藤谷恒明前医療局長、そして医療局長に婦人科の山田秀和が就任しました。島礼研究所長や門間看護部長などに変更はありません。新体制になりましたが、これまで以上にご教授ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

さて、宮城県立がんセンターは、平成5年がん専門病院としてスタートし22年が経過しました。平成23年4月に地方独立行政法人宮城県立病院機構へ移行後、最初の中期計画の4年間で終了し、今年度から平成30年度までの第2次中期計画がスタートします。また、今年度から4年間、国が定める都道府県がん診療連携拠点病院に東北大学病院と共に再度指定を受けました。

これからも、東北地方唯一のがん専門病院としての自覚を持ち、また基本理念にある良質かつ先進的医療の提供に向け職員一同努めてまいりますので宜しくお願い申し上げます。



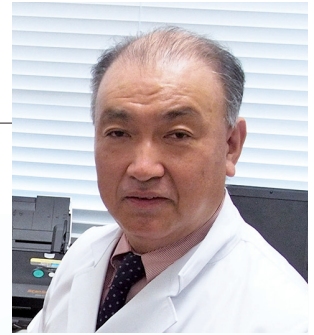
院長 小野寺 博義

このたび、4月1日付で病院長を拝命いたしました。宜しくお願い申し上げます。

前身の成人病センター時代に着任し、25年以上当センターに勤務しております。私が主に担当していた肝疾患を中心に、これまでも地元医療機関の諸先生方のご協力を頂いて診療してまいりました。古くは、地元医師会、所轄保健所とがんセンターが協力して行った肝炎予防対策事業、その後のC型肝炎に対するインターフェロン治療などは、地域の諸先生方との連携なしには成果を得られないものでした。今後、ますます地域連携が重みを増してゆくものと思われまふ。これまでの経験をもとに、あらゆる面において連携強化を図っていきたくと考えております。時折、がんセンターは敷居が高いということを耳にいたしますが、何時でも気軽にご連絡いただけることを目指して改善すべき点は改善してまいります。お気づきの点がございましたらご遠慮なく地域連携室までご連絡ください。宮城県立がんセンター職員一同は最新のがん医療を提供できるように日々の努力を重ねてまいりますので、今後ともご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



医療局長兼地域医療連携室長 山田 秀和



このがんセンター便りが皆様のもとに届く頃には、季節は春から既に初夏になろうとしていることと思います。1年で一番過ごしやすく、何より輝いている季節かと思っています。

4月1日より医療局長ならびにがんセンター地域連携室長を拝命いたしました山田秀和と申します。よろしくお願ひいたします。簡単に自己紹介をさせていただきますと、出身地は福島県南相馬市、出身大学は福島県立医科大学、専門は婦人科です。医者になって約30年一貫して婦人科腫瘍の研鑽を積ませていただき、2011年より宮城県立がんセンターに赴任いたしました。自分のこれまでの経験を生かせる職場で働ける喜びを感じながら、日々手術や外来・病棟業務を行っています。蛇足ですが趣味は写真（おもに風景）で休みのほとんどを写真撮影に費やしています。

この4月からがんセンターは片倉隆一総長のもと、小野寺博義院長、藤谷恒明副院長という新しい体制がスタートいたしました。もちろん従来通り地域に根差した、最先端のがん診療を提供してゆくことにいささかも変わりはありませんが、病院にもきつと昨年までと違った新しい風が吹くかと思っています。私も医療局長として地域の先生方、あるいは患者さんと病院との間でスムーズな診療が行われるように微力ながらお手伝いをしたいと思っています。

さて地域医療連携室は紹介患者さんの予約に関する業務や入院患者さんの退院支援計画に基づいた在宅療養支援を主な業務としている部門です。昨年同様の中沢順子、大村悦子、太田秀子のメンバーに加えて、今年から渋谷利枝子、そしてソーシャルワーカーとして菅原美菜が加わりました。一段とパワーアップして業務に取り組んでいけるとと思っています。

がんセンターとしては昨年から毎週金曜日に夜間の外来化学療法を施行しており、今後ますます就労支援に力をいれていく方針です。ぜひ化学療法を受けている患者さんで、働きながら抗がん剤の治療を受けたいという希望がある方はご相談ください。

また6月から当院ではPET検査を中心とした総合がん検診スタートすることとなっています。この予約窓口も当地域医療連携室となっています。がんセンターで行う検診ですので、がんの診断に関しては他の医療機関とは一味違うと自負しています。ご希望があれば地域医療連携室までご連絡下さい。

新患患者さんのご紹介について


当院では医療機関からの紹介状があれば原則、良性・悪性に関わらず各科への予約が可能です。

ただし、以下の診療科については予約の制限がありますのでご留意下さい。

- 乳腺外科・泌尿器科：がん、またはがんの疑いの診断がある患者さん。
- 放射線治療科・緩和ケア内科：がんの確定診断がある患者さん。

新任医師紹介

(平成27年4月1日付)

よみがな	氏名	
診療科		
① 出身地		
② 挨拶・抱負など		



吉田 新一郎

整形外科

- ① 福島県喜多方市
- ② 平成27年4月1日より、お世話になっております、

整形外科の吉田新一郎と申します。

宮城県内では、骨軟部腫瘍の経験ができる数少ない施設ですので、一生懸命頑張りたいと思います。

よろしくお願ひいたします。



斎藤 陽

血液内科

- ① 岩手県宮古市
- ② このたび、宮城県立がんセンターに赴任しました斎藤陽と申します。

出身は岩手県宮古市で、平成20年東北大学卒業後、山形市立病院済生館で研修を行い、東北大学大学院で学位を取得しました。これからは地域医療に少しでも貢献できればと思っています。何かとご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



盛田 麻美

呼吸器内科

- ① 山形
- ② 昨年度まではレジデントでお世話になり

ありがとうございました。現在は大学院生として研究所でもお世話になっております。心機一転頑張りますので今後とも宜しくお願いいたします。



黒沢 是之

形成外科

- ① 東京
- ② 昨年7月より形成外科レジデントとして勤務して

おります。頭頸部再建、乳房再建をはじめ多くの科の患者様の役に立てるよう取り組んでいけたらと考えております。引き続き、どうぞよろしくお願ひいたします。



金村 政輝

研究所 がん疫学・予防研究部長

- ① 青森市
- ② 4月から前部長の西野善一

先生の後を引き継ぎ、院内がん登録、宮城県地域がん登録の双方に関わらせていただいております。東北大学第2外科入局後、公衆衛生2年、仙台市7年、その後、地域医療関係10年(大学)、主に教育と行政と関連した仕事をしてきました。データに基づくがん対策の推進に寄与したいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。



下山 雄丞

研究所

- ① 宮城県
- ② 東北大学病院消化器内科 下部消化管グループより参りました。

不慣れなところもあり、皆様にはご迷惑をおかけする事があるかもしれませんが、1日でも早く慣れていきたいと思ひます。研究・臨床ともに精一杯頑張りますので、よろしくお願ひ申し上げます。



岩田 朋晃

研究所

- ① 福島県会津若松市
- ② 今年度より主に研究所で研究員として仕事を

させていただいております。現在私は、東北大学大学院医学系研究科消化器病態学分野の大学院4年生であり、この3年間東北大学で学んできたことをさらに発展させられるように頑張りたいと思ひます。至らぬ点が多々あると思ひますが、よろしくご指導をお願ひいたします。



阿部 秀晴

頭頸部外科

- ① 千葉県流山市
- ② 富山大学から3ヶ月の短期研修で

来ました。減りに経験できない手術や、集学的治療と支持療法法の豊富な知見に触れることができ、充実した日々を送っています。短い期間ですが、少しでも知識と技術と人脈のお土産を持ち帰ることが出来る様頑張ります。よろしくお願ひいたします。



岡崎 敏昌

呼吸器外科

- ① 福島
- ② 4月から呼吸器外科に赴任しました。

卒後9年目になります。肺腫瘍はもとより縦隔腫瘍なども積極的に手術を行ってまいりますのでよろしくお願ひいたします。



金澤 孝祐

消化器外科

- ① 福岡県
- ② 平成27年4月1日からお世話になって

おります。宮城で働き出して3年目になります。不慣れなところもあり、ご迷惑をおかけすることもあると思ひますが、がん治療を円滑に行えるよう、日々頑張ります。よろしくお願ひいたします。



退任医師

(平成27年3月31日付)

小笠原鉄郎：緩和ケア内科

長井 吉清：臨床検査科

高橋 徳明：整形外科

井根 省二：血液内科

突田 容子：呼吸器内科

西野 善一：研究所

がん疫学・予防研究部長

研究所ニュース

* 高橋耕太 (がん分子制御分野博士課程卒・現東北薬科大) の「大腸発生機構」に関する博士論文が Int.J.Cancer 誌に掲載されました。(2015.4.17)

* 大阪大学との共同研究で、田沼延公主任研究員 (がん薬物療法研究部) が E S 細胞制御に関する新知見を発表しました。Regenerative Therapy 誌に掲載。(2015.4.10)



外来新患診療体制表

平成27年5月現在



(宮城県立がんセンター)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
消化器科	新患	●	●	●	●	●
	専門外来	肝臓	肝臓	上部・胆膵	肝胆膵・下部	上部消化管
血液内科		●		●		●
腫瘍内科		●		●		●
呼吸器内科		●	●		●	●
呼吸器外科			●	●		●
乳腺外科		●			●	
消化器外科			●	●		●
整形外科			●		●	●
脳神経外科		●		●		●
頭頸部外科		●	●		●	
形成外科			●			●
婦人科		●	●		●	
泌尿器科		●		●	●	
放射線治療科		●	●	●	●	
緩和ケア内科				●		●

* 消化器科では、専門外来の診察日にも紹介患者さんの予約を受け付けております。お申し込みの際にご確認下さい。
 診療受付時間：午前8時30分～11時00分 TEL 022-384-3151(代) FAX 022-381-1169 (地域医療連携室)



交通案内

J 桜交 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用
南交 名取駅西口から「県立がんセンター線」(なとりん号)を利用
自家用車 名取駅西口から「北目上原線」(なとりん号)を利用
 仙台南インターからは、国道286号バイパス経由
 県道仙台・岩沼線を利用 (所要時間約15分)

地域医療連携室のご案内

地域医療機関の先生方からご紹介を受けた患者さんの診療予約をお取りしてスムーズな受診ができるようにしております。

- 受付 午前8時30分～午後5時15分
- TEL (022) 381-5152 (直通)
- (022) 384-3151 (代) 内線115
- FAX (022) 381-1169

宮城県立がんセンター
 〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1
 電話(代表) (022) 384-3151 FAX(企画総務課) (022) 381-1168

□ゴマークの3本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表わしています。3本の柱が、患者さんを支えるという意味です。